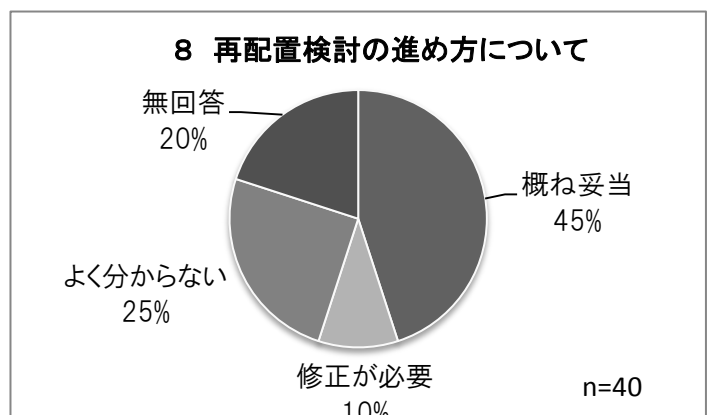
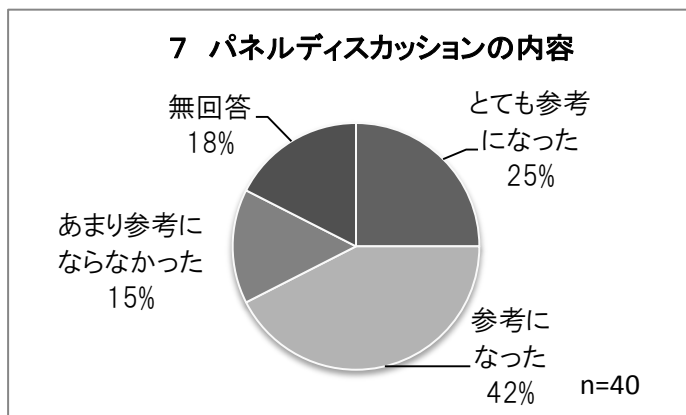
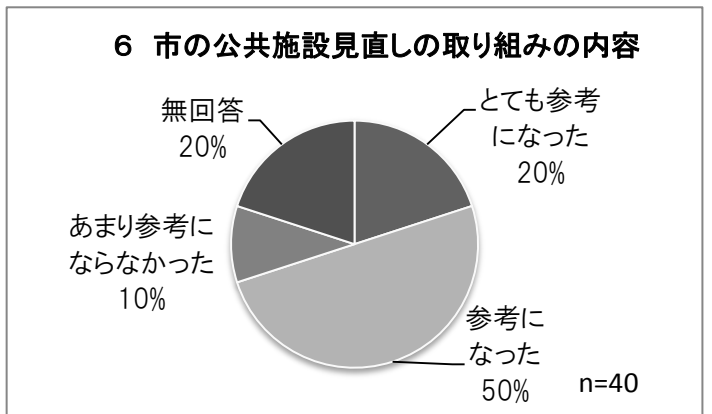
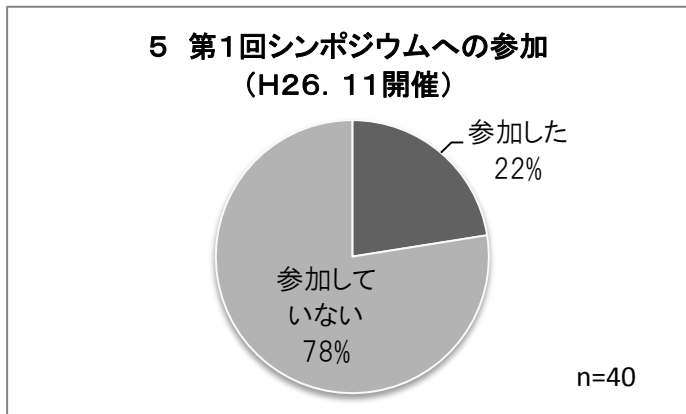
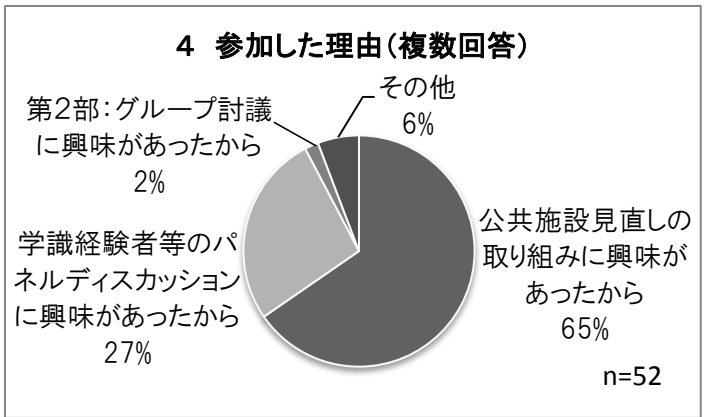
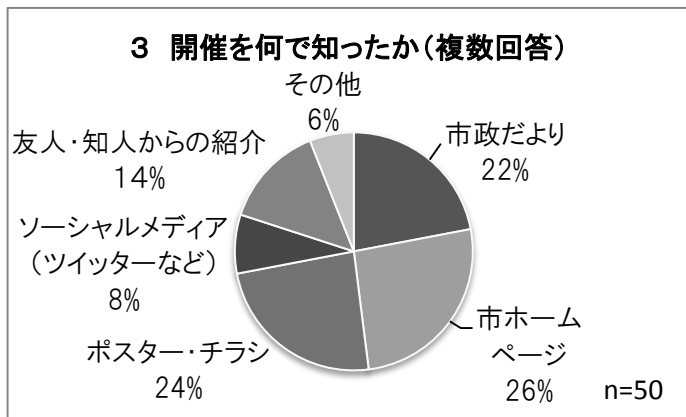
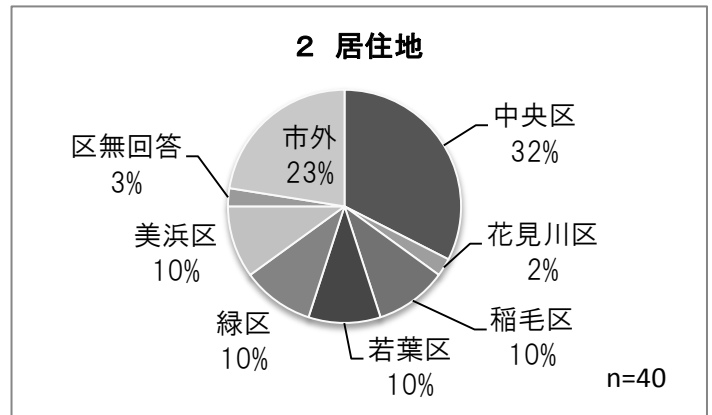
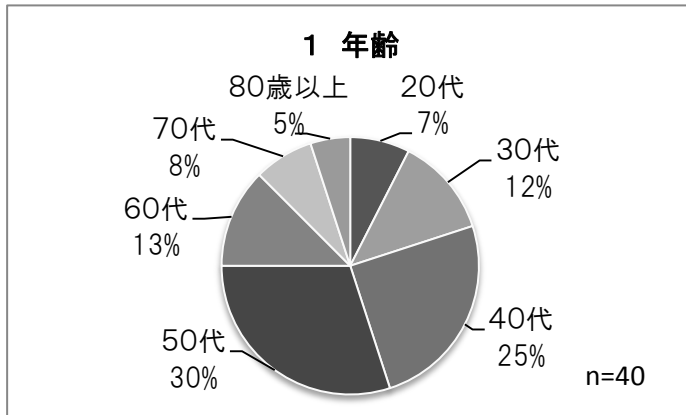


■ 来場者アンケート結果 ～第2回公共施設見直しシンポジウム(H28.11.13)～



■ 来場者アンケート結果 ～第2回公共施設見直しシンポジウム(H28.11.13)～

【千葉市で公共施設の再配置を進めるにあたり、特に重要と考えるもの】

- ・立地の変更による市民サービスへの影響
- ・施設へのアクセスの確保
- ・利便性の維持
- ・ソフト面(運営面)を同時に検討すること
- ・世代の断絶を解消する出会い
- ・再配置のコンセプト(何を指すか)を具体的に議論する
- ・市民の目を活用するしくみ
- ・市民の意向を重視すること
- ・客観的に議論できる時間と場を設けること
- ・再配置による効果の見える化と市民への周知
- ・地域の合意形成
- ・職員のやる気や市の方針などの中身
- ・再配置のタイミング

【ご意見・ご感想】

- ・市民の参加のもとこのようなシンポジウムを開催することはとても良い。
- ・公共施設の見直しに関する知識が増え、自分の視野が広がる良い機会になった。
- ・千葉市の取り組み、今後の方向性が理解できた。
- ・学校への複合化は単純な施設集約でなく、地域との関係を深めることで、効果が現れているのがわかった。
- ・情報の発信が特に大事だと思った。
- ・「千葉市が目指す再配置のカタチ」がもう少し明確になるような形で、議論が進んでいくと良かった。
- ・施設の複合化は手段であり、その施設で何を実現するのか、理念が重要である。
- ・市民が費用負担しても使いたいような施設を目指すべきである。
- ・事例紹介よりも個別具体の計画についてもっと知りたかった。
- ・パネルディスカッションの時間が短かった。もう少し余裕があると良かった。
- ・大きな自治体を誰が中心となって動かすのか、それだけの人材は市役所にいるのかが疑問である。
- ・公共施設の見直しが、中途半端にならないか不安である。

この他にもたくさんのご意見・ご感想をいただきました。